

# 国語 第3学年 物語のしかけのおもしろさをつたえ合おう

## 授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。東京書籍『新編 新しい国語（令和6年度版）』の2月～3月配当を基にした授業案。教材本文・台詞・挿絵は転載していない。

### この単元で子どもが最後にできるようになること

物語の終わりから前の場面を読み返し、初めには気付かなかった仕掛けのおもしろさを考える。意外だったという感想から先へ進み、後で意味が変わって感じられた言葉や行動を示す。単元の終わりに残すのは、仕掛け紹介カード。初めの受け止め方、読み返して気付いた叙述、終わりとの関係、おもしろさの理由を書く。教材についての感想に加え、どの言葉をどう捉えたかが見える記録にする。

### 学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

| 学習指導要領の項目                | 原文                                                                              |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 〔第3学年及び第4学年〕〔知識及び技能〕(1)オ | オ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにすること。 |
| 〔第3学年及び第4学年〕C 読むこと(1)オ   | オ 文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつこと。                                                 |
| 〔第3学年及び第4学年〕C 読むこと(1)カ   | カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。                               |
| 〔第3学年及び第4学年〕C 読むこと(2)イ   | イ 詩や物語などを読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりする活動。                                        |

### 単元の目標

行動や様子を表す語句の意味を場面に戻って確かめ、紹介文で使える。物語の仕掛けを叙述から考え、そのおもしろさを伝え合い、感じ方の違いに気付ける。言葉の働きを確かめ、友達との交流を基に自分の学習を見直そうとする。

### 評価規準（3観点）

| 知識・技能                                             | 思考・判断・表現                                                           | 主体的に学習に取り組む態度                                                   |
|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| ①行動や様子を表す語句の意味を場面に戻って確かめ、紹介文で使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ） | ①「読むこと」において、物語の仕掛けを叙述から考え、そのおもしろさを伝え合い、感じ方の違いに気付いている。（C(1)オ・C(1)カ） | ①学習の見通しをもち、単元で確かめたいことに進んで取り組み、友達の言葉や自分の記録を基に、読み方・表し方を見直そうとしている。 |

### 単元の流れ

東京書籍の年間指導計画による全9時間（読む9）。総時数は出典に従い、各時間の活動と本時の選定は本案の提案として組んでいる。

| 次   | 時             | 学習活動                                | 評価規準（評価方法）       |
|-----|---------------|-------------------------------------|------------------|
| 第1次 | 1             | ○全文を読み、初めに驚いたことと気になった言葉を記録する。       | 学習状況を見て支援する。     |
| 第2次 | 2～3           | ○人物と出来事の順を確かめ、最後の場面の内容を捉える。         | 知①（語句や内容の整理）     |
|     | 4～5           | ○前の場面を読み返し、最後の出来事と関係する叙述を探す。        | 学習状況を見て支援する。     |
|     | 6<br>（本<br>時） | ○初読と再読で感じ方が変わった言葉を挙げ、仕掛けのおもしろさを伝える。 | 思①（発言・学習記録）      |
|     | 7             | ○根拠を添えて仕掛け紹介カードを書く。                 | 学習状況を見て支援する。     |
|     | 8             | ○カードを交流し、友達が気付いた仕掛けを本文で確かめる。        | 学習状況を見て支援する。     |
| 第3次 | 9             | ○読み返すことで考えがどう変わったかを振り返る。            | 態①（学習前後の記録・振り返り） |



## 本時の案

本時の目標：物語の仕掛けを叙述から考え、そのおもしろさを伝え合い、感じ方の違いに気付ける。

| 段階          | 学習活動（○主な発問）<br>・予想される児童の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 指導上の留意点（◎評価）                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>( 分)  | <p>本時に使う教材・前時までのノートを確認、自分の最初の考えを短く書く。</p> <p>○「最後まで読んでから前の場面を読むと、どの言葉や行動が違って見えますか。どんな仕掛けのおもしろさがありますか」</p> <div>【めあて】物語の終わりから前の場面を読み返し、初めには気付かなかった仕掛けのおもしろさを考える。</div> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは普通の行動だと思ったが、後から意味が分かる。</li> </ul>                                                                      | <p>本時に考える対象を確認し、既に確かめたことと、今日確かめたいことを分ける。児童の最初の言い方を残し、まとめて比べられるようにする。</p>                                                                                                                                                                              |
| 展開<br>( 分)  | <p>○「最後まで読んでから前の場面を読むと、どの言葉や行動が違って見えますか。どんな仕掛けのおもしろさがありますか」</p> <p>自分で言葉や本文の箇所を確認、理由を添えて考えを書く。ノートを示して説明し、聞き手は確かめたところと、まだ確かめたいところを返す。全体では考えが分かれた箇所を取り上げ、何を根拠にしたかを比べる。</p> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは普通の行動だと思ったが、後から意味が分かる。</li> <li>・終わりの出来事と前の言葉がつながっている。</li> <li>・友達が見付けた言葉は自分は気にしていなかった。</li> </ul> | <p>初読のメモを残し、再読で気になった語句を別の印で記す。最後の出来事と前の叙述を組にして説明する。気付かなかった児童にも結末を知ってから読む時間を用意する。</p> <p>想定する難しさ：結末の驚きだけを話す。本文にない仕掛けを想像で作る。児童の考えを教師の想定した言い方にそろえない。理由が確かめられる考えは残し、根拠が異なるときはその違いを板書する。</p> <p>◎思① 物語の仕掛けを叙述から考え、そのおもしろさを伝え合い、感じ方の違いに気付いている。（発言と学習記録）</p> |
| まとめ<br>( 分) | <div>【まとめ】今日確かめた言葉や表現と、それによって確かめたことを対応させて自分の言葉でまとめる。</div> <p>学習前の考えと比べ、付け加えたこと、残したこと、その理由を記す。</p> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の考えを聞いて、自分の理由を詳しく説明できた。</li> <li>・友達が見付けた言葉は自分は気にしていなかった。</li> </ul>                                                                                                       | <p>まとめの文を先に与えて写させず、児童が本時に扱った実際の言葉を入れる。書くことが難しい場合は口述を記録する。次の学習では、その記録を使って紹介や説明の文章を直す。</p> <p>◎態①（学習前後の記録と、見直した理由）</p>                                                                                                                                  |

## 板書の構造（縦書き・右から左へ）

右端に題名と本時のめあて。その左に問い「最後まで読んでから前の場面を読むと、どの言葉や行動が違って見えますか。どんな仕掛けのおもしろさがありますか」。中央は根拠となる言葉・本文の箇所と、そこから考えたことを上下に対応させる。根拠の本文は先生が教科書から書き入れる。中央から左に児童の考えを並べ、同じところを囲み、違いの理由を線で結ぶ。左端に、本時で確かめた実際の言葉を含むまとめと、考えを見直した理由を書く欄を置く。縦書きで右から左へ学習の順をたどれるようにする。

つまずきやすい所と手当て

難しさとして、結末の驚きだけを話す。本文にない仕掛けを想像で作る。この場合は、初読のメモを残し、再読で気になった語句を別の印で記す。最後の出来事と前の叙述を組にして説明する。気付かなかった児童にも結末を知ってから読む時間を用意する。おおむね満足できる状況は、物語の仕掛けを叙述から考え、そのおもしろさを伝え合い、感じ方の違いに気付いているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。

プリントの案

|                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>単元の学習メモ</b></p> <p>仕掛け紹介カード。初めの受け止め方、読み返して気付いた叙述、終わりとの関係、おもしろさの理由を書く。教科書の文章・図は印刷せず、自分で確かめた箇所の見出しや、自分の言葉で内容を記す欄にする。</p> |
| <p><b>交流と見直しの記録</b></p> <p>交流前の自分の考え、友達が伝えた言葉、その後の自分の考え、変えた又は残した理由を並べる。友達の考えに合わせることを求めず、判断の理由が分かるようにする。</p>                  |

出典：東京書籍 年間指導計画。教材名・配当時数・時期・重点項目の出典。(https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/kokugo/data/kokugo\_tangen\_3\_202503.docx)／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。原文は手元の公式表の写しと照合。(https://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/new-cs/1384661.htm)／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価規準の観点と記録の考え方。(https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326\_pri\_kokugo.pdf)

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo) LINEオープンチャット  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo) みえ先生ラボ

